

社会資本総合整備計画書

駅周辺の拠点地域における安全で快適なまちづくり

令和8年4月

愛知県 春日井市

令和08年04月21日

社会資本総合整備計画			社会資本整備総合交付金														
計画の名称	駅周辺の拠点地域における安全で快適なまちづくり																
計画の期間	令和06年度～令和09年度（4年間）														重点配分対象の該当		
交付対象	春日井市																
計画の目標	春日井市は名古屋市に隣接し、JR中央本線等都心部への交通手段にも恵まれていることから、土地区画整理事業により都市基盤整備が進められ、名古屋圏を代表する生活都市として発展してきた。しかし、今後人口が減少することが予想されており、春日井市を持続可能なまちとするため、立地適正化計画を策定し、ライフタウンとしてくらしやすい集約型都市構造の実現に向けた取り組みを行っている。 市の拠点であるJR春日井駅周辺では、自由通路等の整備により交通利便性の強化が図られているが、一方では駅に近いにも関わらず狭隘道路が存在し、道路や雨水排水施設が未整備の地域では浸水被害も発生している。また、高御堂古墳や密蔵院等の歴史資源を有しているながら、これらの有効な活用が図られていない。このため、良好な住環境を確保するため、土地区画整理事業及び雨水調整池整備事業等により交通機能の確保と交通安全の向上並びに防災性の向上を図るとともに、歴史資源を活かした都市景観の創出により、拠点地域における安全で快適なまちづくりを推進する。																
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		936	A	936	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）			0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R5末当初）	（R7末）	（R9末）
1	対象地区内の人口を2,134人（R6）から2,408人（R9末）に増加させる。 対象地区内の人口を測定する。			
		2083人	2295人	2408人
2	対象地区内（地区の小学校区の単位）における年間の交通事故発生件数を39件/年（R6）から33件/年（R9末）に減少させる。 対象地区内の交通発生件数を測定する。			
		41件/年	37件/年	33件/年
3	平成23年9月の台風による床上浸水戸数45戸を現況値とし、同規模程度の降雨（10年確率降雨）による床上浸水戸数をなし（R6末）にする。 対象地区内の床上浸水戸数を測定する。			
		3戸	0戸	0戸

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	春日井市	間接	組合	-	-	春日井熊野桜佐土地区画 整理事業	都市再生区画整理 A=92.7ha	春日井市	■	■	■	■		146	-	
											小計						146		
道路事業	A01-002	街路	一般	春日井市	間接	組合	区画	改築	春日井熊野桜佐土地区画 整理事業（（都）桜佐歩 線外）	区画整理 A = 92.7ha	春日井市	■	■	■	■		790	-	
											小計						790		
											合計						936		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06	R07			
配分額 (a)	11	186			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	11	186			
前年度からの繰越額 (d)	0	5			
支払済額 (e)	6	105			
翌年度繰越額 (f)	5	86			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 市街地整備

